

式辞

みなさんおはようございます。体温を超えるほどの暑さで、熱波・酷暑・猛暑と言った表現がメディア等で乱舞した夏休みでした。大過なく、本日みなさんとともに2学期始業式を迎えたことに感謝します。

さて、この間、個々に志を定め、失敗を恐れず果敢に挑戦する自分がありましたか、振り返って下さい。志を達成した人は今日からの生活の糧とし更に高みを目指す、途上である人はより計画的に進める、また、気ままな生活で終わってしまった人は今日、今から志を設定して下さい。学校としても、ウエル・ビーイングな学校づくりに向け組織として様々なプロジェクトを展開しています。適度な緊張感とわくわく感で校長自身、生きる力を高めています。みなさんとともに未来を切り開きたいと思っています。

それでは本日、国際社会を力強く生き抜くため、我が国の現状を一部お伝えします。ご承知の通り、2025.4.13～10.13の間、日本国際博覧会が大阪で開催されます。テーマは【命輝く未来社会のデザイン】です。1970年に開催されてから55年ぶりです。1970年頃我が国は高度経済成長期でした。GDPはアメリカについで2位でした。現在は中国・ドイツに抜かれ4位ですが、ブリックスやネクストイレブンなどが追いつけています。また、電子産業やコンテンツにおいて、韓国、台湾、中国に追い越されつつあります。特に、韓国のサムソンは強大です。また、世界の半導体会社である台湾のTSMCが熊本県に拠点を構えました。中国のBATH（バース）、電気自動車のBYDの勢いも脅威です。更に我が国は少子高齢化で労働生産人口が減少しています。これは経済の衰退を意味します。1970年頃からこの間、バブル期の成功体験から抜け出せず内向きになり進化を止めていたような観があります。

これからは、みなさんの出番です。たとえば、海外大学への進学や就職を視野に入れるなど、視座を外向きにおき命輝く未来社会をデザインしていただきたく思います。

以上、グローバルにみた我が国の現状です。未来をデザインする際、参考にしていただければ幸いです。

終わりになりますが在籍する生徒のみなさんはじめ、本校関係者すべてのみなさんが今日からの1日1日を充実させ命を輝かせることを願い始まりの式辞とします。

大阪府立貝塚南高等学校
校長 藤田 繁也